



駒林小学校便り

令和2年度
1月号
1月6日発行

新年を迎えて

校長 西尾 武泰

2021年、元日から天候にも恵まれ、とても穏やかに新年を迎えました。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、新たな希望を胸に新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、旧年中は本校の教育活動にご理解・ご支援をいただき本当にありがとうございました。本年も引き続きよろしく願い申し上げます。

さて、今年の年賀状にもたくさん描かれていましたが、今年の干支は「丑(牛)」年です。いくつかの神社には牛の像が飾られているところがありますが、特に大きな牛の像が置かれたところでは「牛を撫でると願いが叶う」という神社があるように牛は縁起の良い動物であると言われています。また、昔から農耕で人間を助けてくれた大切な動物であり、その「我慢して耐える」という働きぶりから、丑年は「これから発展する前ぶれ」な年になるとも言われているそうです。12年前(2009年)の丑年を調べてみると、その年は世界中で新型インフルエンザが流行しWHOがパンデミック宣言をしています。現在流行している新型コロナウイルスとの規模は違いますが、12年前に流行した新型インフルエンザは人々の努力と英知で鎮静化させることに成功しています。ですので「これから発展する前ぶれ」な一年となるよう、今は耐え忍びながら、できることをしっかりと見極めて新しい発展へと繋げていきたいと考えています。

学校では家庭とのオンラインで、昨年末には学習支援クラウドシステムの試行をしました。お忙しい中でしたが、ご協力をありがとうございました。(学校での体験の様子は12/22のHPに掲載されています)どのようなシステムなのか、その一部を簡単に説明すると、担任から子どもたち個人の端末へと送られてきた課題に対して、子どもたちは自分の考えを端末の画面にあるカードに入力して、それを担任に送り返し、担任がその考えをもとにして、子どもたちの思考を比較して、練り上げたり発展させたりして学び合うことができるというものです。双方向な授業を展開できるのでとても便利なツールとなりそうです。GIGAスクール構想が本格的に実施されたときに、このツールを使うことにより、より対話的・主体的で深い学びができるような授業が展開できればと考えています。

新型コロナウイルスに対して、まだまだ気が抜けない状況ですが、これから発展する前ぶれとなるように、地道に進んでいきたいです。今年もご支援とご協力をお願いいたします。